

薬科大学での講義について

薬学生向けの啓発活動の一環として、「学生向け教育資材」をもとに講義を行っております。

2022年12月には、3校の大学に講義の時間を設けて頂きました。ご協力頂きました先生方に改めて感謝申し上げます。

講義後にジェネリック医薬品の代替調剤に関する疑問など志高い学生さんから多くのご質問を頂きました。学生さんにとって、ジェネリック医薬品を体系的に知るための良い機会になったのであれば幸いです。

○同志社女子大学 薬学部

講演日時：2022年12月13日(火) 11:00～12:30

形式：対面

テーマ：「ご存じですか？ジェネリック医薬品」

講師：南雲 浩之 氏（日本ジェネリック製薬協会 広報委員会ニュース・講演部会長）

聴講者：4年生124名



○昭和薬科大学

講演日時：2022年12月15日（木）13:00～14:20

形式：対面

テーマ：「ご存じですか？ジェネリック医薬品」

講師：後藤 秀樹 氏（日本ジェネリック製薬協会 広報委員会ニュース・講演部会委員）

聴講者：4年生207名



○九州保健福祉大学 薬学部

講演日時：2022年12月23日（金）13:10～14:40

形式：対面

テーマ：「ご存じですか？ジェネリック医薬品」

講師：南雲 浩之 氏（日本ジェネリック製薬協会 広報委員会ニュース・講演部会長）

聴講者：5年生50名



参加された学生の方々からのお声を一部、ご紹介いたします。

- ・ グラフなどが多くてデータに基づいていてわかりやすかった。
- ・ 国の財政が圧迫している要因に医療費がとても大きく関わっていることから、薬剤師としてジェネリック医薬品を勧めることがとても重要であることがわかった。
- ・ 様々な過程を経て作られているということがわかり、進んで使いたくなった。
- ・ 付加価値の重要さに気づけました。薬局行ったら比べてみたいと思いました。
- ・ ジェネリックについて正しい知識を得られました！
- ・ ジェネリックは強制的に進めていくんじゃなくて、患者さんに知ってもらって納得してもらって使うか決めてもらうということが大切なんだとわかりました。将来自分もジェネリックを患者さんに勧める機会があったらそのことを忘れないようにしようと思いました。
- ・ 私の祖母は、後発医薬品は価格が安い分だけ手抜きの薬だと勘違いしているので、今回の講義で学んだことを祖母にも今度伝えようと思いました。

<ご参考>

日本ジェネリック製薬協会ホームページ

薬学生向け資料スライド・薬剤師国家試験過去問解説・講義依頼フォーム設置ページ

https://www.jga.gr.jp/medical/for_student.html



講義依頼はQRコードから